

# 11月



# 保健だより



平成29年11月1日  
保育園夢未来二俣川園

冬は風邪やインフルエンザをはじめとする感染症が流行します。  
ウイルスは低温・低湿度を好み、人の免疫力は低気温で体温が下がることで低下します。  
そのため冬はインフルエンザをはじめ、風邪や急性胃腸炎など感染症が流行するのです。  
特に乳幼児がかかると重症化する可能性もあり、感染症を「予防」していくことが大切です。  
11月は保育参観があるので、しっかりと「予防」をして元気に登園をして下さい！



## 《主な冬の感染症》

対症療法→ ※病気の原因を取り除くのではなく、  
病気によって起きている症状を和らげたり、なくしたりする治療法

	飛沫経路	症状	治療
インフルエンザ	・飛沫感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・突然の38度以上の高熱</li> <li>・全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状</li> <li>・のどの痛みや咳などの呼吸器症状</li> <li>・通常は発熱してから数日持続した後、1週間で回復する</li> <li>・合併症として、まれに脳症(けいれん・意味不明な行動・急速に進行する意識障害などが主な症状)がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対症療法</li> <li>・抗ウイルス薬</li> <li>・解熱薬</li> </ul> (種類によって使用を避けるべきものがある)
RSウイルス感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛沫感染</li> <li>・接触感染</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱・鼻水などの症状が数日続く</li> <li>・多くは軽症で済むが、ひどい咳、喘鳴、呼吸困難などの症状が出現し、細気管支炎、肺炎へすすむ場合もある</li> <li>・乳児期早期(生後6か月以内)に初めて感染した場合、免疫不全が存在する場合などは重症化のリスクが高まる</li> <li>・1~2週間で徐々に回復するが、重症例では呼吸困難などの為、入院が必要となる場合がある</li> </ul>	対症療法
嘔吐下痢症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛沫感染</li> <li>・接触感染</li> </ul> (糞便や嘔吐物で汚染された物からの経口感染)	<b>【ロタウイルス下痢症】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、嘔吐、発熱が先行し、次いで下痢の症状を認める</li> <li>・細菌による胃腸炎に比べて、腹痛や発熱が少ない</li> </ul> <b>【ノロウイルス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嘔吐</li> <li>・下痢(ロタウイルスほど発熱はみられず、症状の持続も短く、軽症)</li> <li>・長期免疫ができてにくい為、繰り返し感染する</li> </ul>	下痢・嘔吐・発熱 脱水に対する 対症療法



咳が出る時はマスクをしよう

感染経路を絶つ



早寝・早起き・食事



適度な運動・休息



ワクチンで免疫をつける

感染症予防のポイント!

